

—海洋プラゴミ・マイクロプラ問題の解決に向けて—

情報 URL <https://www.jspp.or.jp>

プラスチックは比較的安価であり、その利便性の良さから多くの製品に適用され、我々の生活にはかかせないものであり、多くの恩恵を受けております。

その一方で、年間約3,000トンのプラスチックゴミが地上や海に流出しており、景観及び地球環境に影響を与え、その問題が深刻化しております。また最近の研究では、北極から南極に至るまで、マイクロプラスチックの浮遊が確認されており、生態系へ悪影響の懸念が高まっております。

本講演会では、海洋プラゴミ・マイクロプラ問題の現状と、これらの問題への解決として有効な手段となるリサイクルやバイオマスプラスチックの最前線に関し、講師の先生方にご講演して頂きます。

今後、カーボンニュートラル並びにサーキュラーエコミーを達成するために、社会的価値と経済的価値の両立が可能な製品の創製に向けて、本講演会が参加者皆様の一助となれば幸いです。大変ご参考になる講演会と思えます。多くの方々のご参加をお待ちしております。本講演会は、現地会場とオンライン会場の併用によるハイブリッド開催を予定しています。

[企画担当委員：廣野正樹（三菱エンジニアリングプラスチック）、荘所大策（KRI）、安田健（東京都立産業技術センター）、狩野武志（プライムポリマー）]

1. 開催日：2022年5月13日(金)

2. 開催方法：ハイブリッド開催

①現地会場：浅草橋ビューリックホール&カンファレンス
2階ビューリックホール

〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-22-16 ビューリック
浅草橋ビル

JR 総武線「浅草橋駅（西口）」より徒歩1分

都営浅草線「浅草橋駅（A3出口）」より徒歩2分

②オンライン会場（Zoomを予定）

*新型コロナウイルス感染症の感染状況により、オンライ

ン開催のみとなる可能性があります。

3. 主催：プラスチック成形加工学会

4. 協賛（予定）：化学工学会、型技術協会、強化プラスチック協会、高分子学会、自動車技術会、精密工学会、繊維学会、全日本プラスチック製品工業連合会、日本機械学会、日本合成樹脂技術協会、日本ゴム協会、日本材料学会、日本接着学会、日本繊維機械学会、日本塑性加工学会、日本複合材料学会、日本プラスチック機械工業会、日本レオロジー学会、マテリアルライフ学会、SPE 日本支部

5. 定員：100名（先着順、定員に達し次第締切）

6. 参加費（税込み、テキスト費用込み）：

正会員・賛助/法人会員	15,000円
学生会員	1,000円
協賛学協会員	25,000円
非会員	30,000円
学生非会員	3,000円

7. 参加申込締切 2022年4月28日(木)

8. 申し込み・お問い合わせ先

プラスチック成形加工学会ホームページの本講演会会告の申込フォームからお申し込みください。また、電子メール、FAX、郵送でも受け付けております（申込用紙に必要事項記入の上、学会事務局までお申し込みください）。なお、参加費は銀行振込、郵便振替、もしくは現金書留でご送金ください。

一般社団法人プラスチック成形加工学会 事務局

〒141-0032 東京都品川区大崎5-8-5

グリーンプラザ五反田第2 205

TEL(03)5436-3822 FAX(03)3779-9698

郵便振替番号 00130-7-402104

銀行振込口座：みずほ銀行 銀座中央支店(125)

普通預金 1952925

名義)一般社団法人プラスチック成形加工学会

9. プログラム：

時刻	内容	講師
9:30-10:30	サントリーの包材におけるサステナブルの取り組み キーワード：包材、PET、サステナブル、リサイクル	サントリーホールディングス(株)
10:30-10:40	質疑応答	加堂 立樹
10:40-11:40	家電等樹脂リサイクルにおける資源循環の取組みと展開 キーワード：家電リサイクル樹脂、高純度樹脂選別技術、マテリアルリサイクル、セルロースファイバー、複合再生樹脂	パナソニック(株)
11:40-11:50	質疑応答	角尾 龍彦
11:50-12:50	昼休み	
12:50-13:50	海洋プラスチック汚染の現状と将来予測 キーワード：海洋マイクロプラスチック、海洋観測、シミュレーション	九州大学
13:50-14:00	質疑応答	磯辺 篤彦
14:00-15:00	廃棄プラスチックからの水素エネルギー再生とその実用展開 2022 キーワード：廃プラ、ケミカルリサイクル、アンモニア、水素	昭和電工(株)
15:00-15:10	質疑応答	栗山 常吉
15:10-15:20	休憩	
15:20-16:20	生分解性バイオマスプラスチックの高性能化と課題 キーワード：生分解性バイオマスプラスチック、環境分解性、生分解速度制御、生分解開始機能	東京大学
16:20-16:30	質疑応答	岩田 忠久